

(資料1) 平成28年度 磐田市立神明中学校 学校評価書

A:十分満足 B:おおむね満足 C:もう少し努力すべき D:大いに努力が必要

重点	目標・取組	評価指標	自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
「進んで、あいさつ」をやるに。	「おはよう、こんにちは、失礼します、さようなら等」からコミュニケーション力の向上を目指す。 - 授業での元気のよいあいさつ	・あいさつがしっかりできているか。	B	○【考察】生徒の87%、保護者の82%、教職員の54%、学校関係者の85%が、本校の生徒はあいさつができていると評価している。今年度も生徒会や保護者、教師による「あいさつ運動」を継続的に行ってきた。生徒会としてもスローガン“Let's smile and greet!”を掲げ、あいさつの意識が高まるよう全校生徒に働き掛けた。しかし、教職員の評価としては、教師からあいさつの声を掛けられれば、さわやかにあいさつを返すことができる生徒が多いが、「進んで」という点においては今一歩であると指摘する声が多くある。自主性を育む生活指導の充実が課題として挙げられる。 ※【改善策】 - 生徒会本部と生活委員会とが連携して、「あいさつ運動」をさらに活性化していく。 - あいさつ実践の段階的な指標として、①相手を見て ②自分から ③気持ち伝わるように、を意識して行えるよう指導していく。	- 御厨交流センターでは、バレエ部が練習しているが、あいさつは大変良くできているように感じる。 - 個人差はあるが、元気よく進んであいさつしてくれる子もいる。 - 校内でのあいさつは良いが、外でのあいさつをしっかりしてほしい。 - あいさつをすれば返ってくる。自ら進んでできるとよい。 - 集団であればあいさつをするが、個人ではあまりできない傾向にある。 - 顔見知りの大人にはあいさつをするが、知らない大人にはしない傾向がある。
		・地域の人にあいさつをしているか。	B		
「粘り強く、さわやかに」	- 授業に集中し、自主学習に挑戦する。 - 行事や部活動、各種大会、コンクール、検定試験等への挑戦	・授業の内容が分かっているか。	B	○【考察】生徒の79%、保護者の72%、教職員の96%が、生徒は基礎的・基本的な内容が理解できていると評価しており、昨年度より数パーセントずつ上昇している。特筆すべきは、教師は授業を工夫していると評価した保護者の割合が82%で、昨年度より31%上昇している点である。校内研修を中心に日頃から授業改善に意識的に取り組んできた成果であると受け止めるとともに、「わかる・できる」学びを目指して、さらなる授業改善に尽力していきたい。また、生徒の65%、保護者の67%、教職員の70%が、生徒は家庭学習の習慣が定着していると評価している。学校と家庭の協力のもとで、家庭学習への意識を高めていく必要がある。学校行事では、生徒の89%、保護者の93%、教職員の96%が肯定評価、部活動等では、生徒の88%、保護者の89%、教職員の96%が肯定評価をしており、生徒は、行事や部活動に意欲的に挑戦し充実感を得ることができたことがうかがえる。 ※【改善策】 生徒の「主体性」を育む学習指導の充実と、家庭学習の内容面の見直し・充実を図る。	- 授業参観では、熱心に授業を受けていると感じた。 - 学習遅進や不登校の生徒への対策など、細かな点で配慮してやっていただきたい。 - 緑風祭は、一生懸命になって取り組んでいた。 - 鈴歌祭を見て、クラスでまとまっていることが分かった。みんな伸び伸びと学校生活ができていると感じた。
		・家庭学習の習慣を大切に、宿題や予習・復習などの学習に取り組めたか。	B		
		・部活動や各種大会・コンクール等に積極的に挑戦できたか。	A		
「進んで、ボランティア」をやるに。	奉仕活動・福祉活動・環境整備を通して、思いやる心を育成する。	・奉仕活動、福祉活動等に進んで取り組めたか。	B	○【考察】生徒の66%、保護者の58%、教職員の88%、学校運営協議委員の100%が、生徒はボランティア活動に進んで取り組んでいると評価している。今年度も、本校の総合的な学習の時間「アクティブタイム」やボランティア活動を通して多くの生徒が福祉活動に進んで取り組むことができた。生徒や保護者の評価は昨年度同様控えめだが、実際にボランティアを受け入れてくださっている地域の方からは昨年度以上に高い評価を得ている。また、本校生徒のボランティア参加数は磐田市の学校の中でも一番多い。 ※【改善策】 今後も、学校文化「福祉の神明」づくり（「アクティブタイム」の充実、ボランティア活動の紹介の工夫、生徒会による福祉活動の工夫）をさらに推進していく。	- 交流センターの奉仕活動・地区体育祭ボランティアでは、真面目に取り組んでおり、この経験が将来、生きていくことを願う。 - ボランティアに多くの参加がある。前向きに取り組んでいると思う。 - 地区の行事に積極的に参加している。 - ボランティアの意義を周知し、より充実したものになりたい。
		・福祉活動等を通じて、思いやる心の育成ができたか。	A		

学校関係者評価を受けてのまとめ

- 学校運営協議会の委員からは、「あいさつ」に関しては、自分から進んで行う生徒は少ないという評価、「挑戦」に関しては、行事や部活動に一生懸命取り組んでいるという評価、「ボランティア」に関しては、地域で積極的に取り組んでいるという評価をいただいた。次年度は、以下の点を重点的に指導していきたい。
- ・「あいさつ」に関しては、自分を支えてくれる周囲の人に感謝の気持ちをもって進んで行えるように指導していく。
 - ・「挑戦」に関しては、行事や部活動と共に、「わかる・できる」主体的な学び合いを目指して、生徒が協働的に学べるように指導改善を図っていく。
 - ・「ボランティア」に関しては、地域行事も含めて、さらに積極的に参加し、地域に貢献できるように指導していく。